

等の材料を精選すべしかに就いて大に考慮しなればなるまい。然るに世の多くの幼稚園に於ては

會々觀察又は實驗をするかと思へば遣り過ぎて理科的教授様の問答などをしたたり、然もなければ單

に發表的材料と徒に高尚な模範とを押し付けて、仕事を強制したりして居るのが多い。誠に、子供

の爲めに可哀相なことである。併し、兒童研究に熱心なる世の保姆諸君は遠からずして、此蒙を啓

いて、大に幼兒の幸福の爲めに盡さるゝであらう吾人は速に斯る日の來らんことを望むものである。

要するに幼兒をして充分に活動せしめんとするには彼等をして先づ收得的受領的經驗的觀察的に活動せしめて、感官と筋肉とを求心的に練習せ

しめ、而して徐ろに自由に且充分に之を外部に向つて發表せしむる様努めねばならぬ。斯くしてこ

を始めて、教育は直観より始めなければならぬと主張したベスタロツチの主意にも叶ふ譯で、而

して又自己活動を以て教育の唯一原則としたフレ

ベルの本旨にも副ふ譯である。

## 小兒の傳染病に就いて(二)

醫學士 唐澤充徳

### 風 疹

前の二つに能く似て居りまして、子供が罹つてさう危険で無いのは風疹、又は「かざはな」。是は大抵數へ年の二つから十位の子供に多い傳染病であつて、やはり紅い。猩紅熱のモウ少し色の薄いやうな小さい發疹物が全身に出て來る、是は猩紅熱と誤つて大變に大騒ぎをやることがありますけれど、この方は通常三十八九度位の熱が一日位しか出ない。其の日の發疹物が出ると二日目には無くなるから、一遍は吃驚しますが、すぐ判然します。且此かざはなの方はさう危険なもので無い。猩紅熱と區別するのもやはり一方は發疹物が長く續くが、風疹は短い爲めに直ぐ診斷が出来ます。兎に

角發疹物の病氣の中では猩紅熱が最も恐ろしいものであると云ふことが分れば宜からうと思ふ。

### 水痘

次が水痘、俗に「みづいも」と言ひますが、是は前の猩紅熱だとか、麻疹程怖い病氣でない。此の爲に生命を亡くなすと云ふことは無いが、之も立派な傳染病である。人から人に向つる時間は十三日から十四日位經つと發する。是は黴菌は分つて居りますが、此の病氣は死ぬやうなことはありません。んから恐しくはありませんが、時に依ると此の後で腎臓炎を起す。その外に氣を付けなければならぬのは、之が生れ立ての赤ん坊詰り病兒の兄弟で、其の弟なり妹なりに二週間位の赤ん坊がある、若し其の赤ん坊に向つると天疱瘡と名付けるものが起る。さう云ふ危険がある爲に之も兎に角注意を要するのであります。

### チフテリ

チフテリは昔は非常に恐れた病氣で、馬脾風と

稱へた時代には、此の病氣に罹れば四分の三は大抵亡くなつて仕舞つた位ででしたが、ロエフレルと云ふ大學の教授が、此の黴菌を發見してから彼の有名なペーリングの血清が出来ました。殊に早知り得たチフテリの患者、即ち咽喉に白いものが着いてから二三日少くとも一週間以内に發見することが出来た「チフテリ」は怖い病氣で無い。たい極く小さい所の子供に起りますと云ふとそれが爲に窒息を起したり、又クループと名付ける病氣になつて斃れることが屢々ある。若し怠らずに小兒を注意して居つて早く實扶丁里を知り得たならば、當時は此病はもう恐るゝに足らない所が事實に於てはなかく注意を怠つて随分危険の病狀になつて、我々の所に来るのが少くありません。而かも醫者に診て貰つても、今迄氣がつかれないで居たやうな場合が時に依るとある。此病の診斷法は毫も難しくない。たい咽喉をさへ開け

て見てやれば、素人でも此の咽喉に白い物が着いて居る位ひのことは分らない、譯は無いのであるが、實際になるとなかく、デフテリーに罹つて居るのを知らずに過ぐして居るのが多い。私は何時も總ての家庭の人にも勧めますが、茲に貴方々にもお勧めしたいと思ふのは子供を始終取扱ふ以上は、少くとも咽喉だけは見ることをやられたいものだと思ふ。随分中には頑強な子供があつて、我々診に行つても困ることがありますけれども、少くとも咽喉を見て咽喉に白い物とか何とか異常があつたならば直ぐ注意をすると云ふだけのことには、子供に關係のある者は必ずやることに定めて仕舞ひたい位、實に必要な事柄であります。此のデフテリーの一多量の年齢はやはり二年から満一年半位から六年七年位に一番多い。之も其の傳染するの患者の其の徴菌が咽喉の粘膜に付いてから七日八日経つと起つて来る。初めには通常其の子供が熱の有無に拘らず大變だるがたり、眠り

が悪くなつたり、よく氣を付けると聲が噎れて來て、ゴン／＼犬が吹へるやうな咳をする。時に依ると鼻汁が出て居つて其の鼻汁が非常に汚い。血が混つて居つて塵埃が起つて居るやうな鼻汁を出して居ることがある。時に依ると別に原因も無くして子供が泣くやうなこともある。時に依ると口中が臭くて非常に厭な臭ひのすることがある。さう云ふ風の時に咽喉を開けて見ると若しデフテリーであると直ぐ分かる。(標本及び圖を示す)此の標本は大變不出來であります、茲に黄味がかつた白い物が着いて居る。通常扁桃腺にてあるが、軽いのであると、點狀の白い物が附着して居る。ひどいものになると、スツカリ眞白になつて、白くして幾分か黄味を帯びたものが咽喉について居る。同時に咽喉の粘膜は充血して紅くなつて居る。それがあつたら直ぐに猶豫なくデフテリーだと云ふことが極められる。醫學の方から言ふと、色々の病氣で白いものが起るものがありますけれども、

幼少の時分に斯う云ふものがあつたならば直ぐデフテリーであることと云ふことを極めても宜い位である。此の白いのは何かと云ふことは黴菌が棲息して段々殖へて行つて、茲に白い義膜と稱へるものを作る。是が何故危険かと云ふのに此所で黴菌が何千何萬と云ふ數が溜つて各黴菌が出した毒を身體の中に送り込む故に其毒の爲に患兒の心臓が麻痺して死ぬことになるのです。従つてデフテリーを我々が診ますと一刻も早く注射する。注射が早ければ早いだけ毒の廻方が少い理窟だからです。それですから家庭の方から言つても咽頭を早く見て同時に醫者に早く治療させるやうになつたら、其の子供の爲に幸福であるのは當然の語である。咽頭を見ることは大變六づかしい事かと云ふに別に譯は無い。口を大きく開ければ直ぐ此所に白いものがあつたならば、デフテリーと云ふことが分ります。時に依ると舌に蔽はれて奥が見えないことがある。其の時には舌を押へるとか匙の柄の

方を能く火で焼くか、熱い湯に入れるか消毒をして置いて、それで押へると能く見える。極く譯の無いことで、若し子供が非常に八釜しい子供なれば鼻を摘んで呼吸をさせないやうにすれば開けますから、譯なく咽頭を見る事が出来る。今申したやうに注意が遅れると、助かるべき者も死ぬのでありますから、若し聲が嘎れてゴン／＼犬の吠へるやうに咳をしたり、鼻の所から始終汚い膿が出る何だか妙だと思はれたり、(そういふ時は鼻のデフテリーが來て居る場合で餘程悪性である。)又は口が臭い場合には、若し出來得るならば、咽頭を一遍見てやつたら非常に良いだらうと思ふ。

格魯布

デフテリーの種類で質の違ふのは格魯布、是は幼稚園に來る位ひの年齢の者には殆ど少い。是はデフテリーのやうに呼吸機關まで犯されて、呼吸困難がひどくて、同時に例の犬のやうな咳をする。呼吸困難がひどい爲に唇が紫色を呈して、呼吸の

激しい爲に胃の所が引込む。誰が見ても格魯布で無いかと云ふことが分かる。それは四年以上の子供には極く少い。所が若しそれであるとそれはチフテリーよりも危険である。チフテリーよりも最つと重い方に屬します。咽喉を見ても何にも無くても、勿論危険だと心得て居らなければならぬ。

百日咳

其の次には百日咳。是は誠に困つた病氣で、我々が一番苦んで、又同時に今迄は如何に苦んでも何も發見することが出来ず、殆ど放擲されて仕舞つた位の研究するのに難しい病氣である。年齢は初生兒から七八年位の間にも多く来る。未だ微菌が發見されて居りませぬが何でうつるかと思ふと、やはり他の病氣と同じやうに空氣でも来る。咳其の他衣服、食物などからも来るらしい。是は幾日位の經つて来るかと申しますと、他の子供からうつつてから、一定しては居りませぬが三日四日經つと起ると云ふ人もあり、又十日位の經つと

起ると云ふ人もあります、是は初めの中からは、云ふ風にコン／＼と云つて後に引くやうになる。初めの中は、たゞの氣管支加答兒と區別することが出来ない。従つて百日咳に罹つて居つても幼稚園に入居して居る。その爲にそれからそれへと感染することが多い。我々だと初めから百日咳になりはすまいかと云ふことが言へますけれども、素人の方には困難である。症候は唯咳を順次に引續いて急き込むやうな咳をやるので、通常咳出してから十日、十二日位おしてから始めて急き込んだ後に内へ引くやうな咳をする。此時分には素人でも、子供を常に取扱つて居る方々は、之は百日咳だと云ふことが分つて來ます。是は誠に此の病氣の質の悪い所で、其の初め十日十二日位の間の咳が後に引かない。唯だ急き込むだけであるから、初めの中は慥に百日咳であると言ひ切ることは困るやうなことがあります。其の十日十二日を過ぎると後に痙攣期と名付けて痙攣様の

發作性の咳嗽を起して来る。一日に二十遍も、三十遍も、甚しきは百遍も二百遍もコン／＼後に引く咳をする。それは極く軽いのも三四週間、長いものになると二三ヶ月位續いて漸く治つて来る。非常に長い爲に百日咳と云ふ名前を日本でも今迄用ゐられて居る。唯困りますのは、醫者の方で特によく利く薬がまだ發見せられて居ないのであるが、唯一遍經過すると麻疹のやうに二度とはかゝらぬ病氣である。一番危険なのは弱い子供であると百日咳の爲に肺炎を起して死ぬのがよくあります。従つて此病の爲には幼稚園に來る年齢の子供自身に多く死にませぬが、若しそれに兄弟がある時、若い方に即ち小さい二年の小兒にうつると、氣管支肺炎だけでも危険であるのに、百日咳が合併すると實に危険である。是が幼稚園の時代の子供の病氣の中で一番恐しい傳染病である。ですから貴方々の方で御注意をなさるならば、一番初めの咳込んで來た時分に、若し變だと思つたら、

直ぐ相應の經驗ある醫者に診て貰ふが宜からうと思ふ。もう一つ危険なのは治つたと稱して幼稚園に來る時に、何しろ病氣が百日もかゝる故に、家でも堪へられなくなる。日に十遍も二十遍も咳く時分には寄越しもしない。又寄越して追歸へされる爲に來はしないが、これが百日も經つて熱は少も無く、日に依ると二三度咳くとか、極く寒い風に當ると三四度も咳くと云ふやうな時になると、スツカリ治りましたと云ふことにして、幼稚園に來るやうな場合も随分有り勝ちである。さう云ふ風なのはやはり未だ傳染する時代である。少くとも全然咳をしないやうにならなければ他の小兒に傳染せぬと云ふ譯にはいかぬ。發作性の咳が一遍でも出る時にはやはり他の子供に移る。危険のある時代である。是は餘程氣を付けなければいけないと思ふ。

### 腸、窒、扶、斯

是は子供も大人も同じで立派に黴菌も發見されて

居りますけれども、是は幼稚園とはあまり關係が少いように思はれる。熱が出れば小兒が學校へ來る事もないし、ハッキリ治つてからで無ければ幼稚園へ出て來ませぬから幼稚園の方へは危険が少い。是が傳染するには大便から傳染する。又水道からも移る機會がある。又食物と衣服などから傳染して來る。一般に子供の腸室扶斯は非常に質が良くて殆ど死なない。他の病氣が合併するのでなければ、皆な助かります。この點は大人の腸室扶斯とは大分に趣を異にして居る。

赤痢

是も思ひの外幼稚園の方でうつると云ふやうなことは少いだらうと思はれる。唯便所の消毒は八釜しくして置くが宜しい。一緒に食物を食べるやうなことがありますまいから、少くとも東京で斯う云ふ所で移ることは餘り無からうと思はれる。從つて症候なども御話する必要もありますまい。

流行性感冒

インフルエンザ之も微菌で起りますけれども是は全く防ぎようがない。或る者は熱が無くて唯咳だけでインフルエンザに罹つて居る者もある。又熱が無くても下痢を起して居るやうなものもある。從つて確かにインフルエンザと言ひ切ることが出來ない病氣でありますから、立派な流行病ですけれども防ぐことが出來ない。又た之を防ぐ爲に隔離すると云ふやうになつたら、皆隔離しなければ一度やると二度やるのが少いけれども、此のインフルエンザだけは何遍でもやる。微菌で起る病氣であるにも拘らず免疫にもならない。何時でも罹る。所が宜いことには四歳以上の子供のインフルエンザは殆ど危険は無い。其の以下の幼兒ですと、よく斃れるのがあるから危険ですが、大きい子供になると直きに治ります。以上申しましたものは急性の傳染病で、慢性には肺結核などがありますが之は大なる題目ですから

何時か機會があつたら又御話しようと思ひます。

(フレーベル會十二月常集會)  
 講演 演 速 記

## 幼稚園に於ける圖畫

藤 五代 策

今假りに幼兒に向つて、紙と鉛筆とを與へたとす。夫れこそ何よりの大喜びで、そこら當りにある物體の形か、さもなれば自分の意に浮ぶ處の思想を無雜作に得意然として、描き出すのである。けれど、其の描ける形は甚だ不釣合のもので、方法もなければ順序もない。勿論幼稚園の圖畫は、小學校に課する圖畫教授の方法とは全く異つたものであるから、隨意氣まゝの描かせ方で差支へない様なものの、何か茲に平易な適當なる方法でもあるならば之に過ぎたことはないかと考へる。余は幼稚園の教育には少しも關係を有して居らぬけれども、聊か小學校の圖畫教育に興味を有して

居るものであるから、幼稚園の幼兒に課しても宜敷からふと思ふ方法の二三を掲げて、参考に供したいと思ふ。

一、基本形を與へて畫を作らしむること。

幼兒の身邊にある器物は、千種萬別實に數へ盡さぬ程あるけれども、其の形を正面より、或は側面より又は平面より眺むるときは、其の輪廓の大體の形狀は、方形とか、圓形とか、卵形とか云ふ様に、或一種の形に歸せしむることが出来るのである。その歸納した形が所謂基本形であつて、幼兒の圖畫には先づ此の基本形を與へて畫を作らしむることが、最よき方法と考へる。さて其の基本形は、木製のものと針金製のものの紙製のもの等様々あるけれども、最簡單なものは、十オンス位の馬糞紙を、直徑一寸五分位の三角形、四角形、長方形、梯形、圓形、半圓形、卵形の七種類位に切貫いたものが最適當と思ふ。而して夫等の基本形は幼兒數丈別々に小箱に納めて置いて、時間前に